

## 豊見城市の給与・定員管理等について（平成20年度版）

### 1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

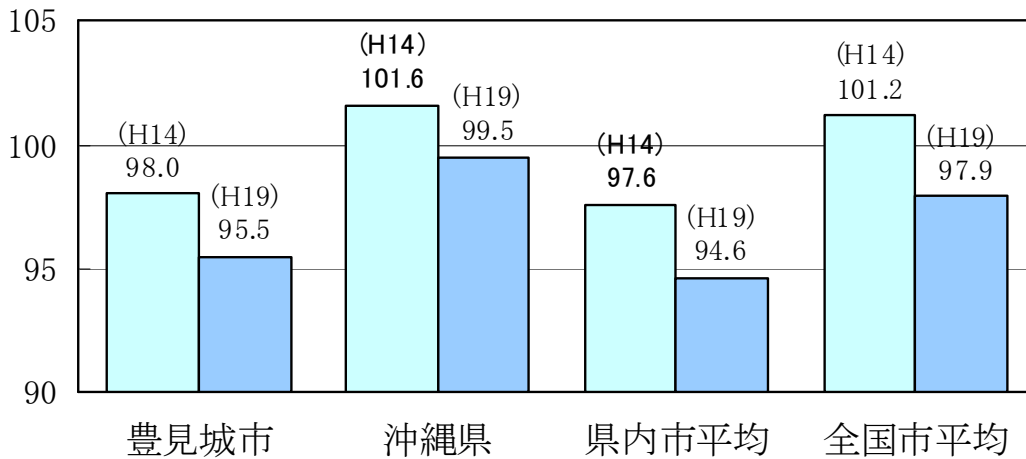
区分	住民基本台帳人口 (19年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 18年度の人件費率
19年度	人 55,038	千円 20,874,506	千円 216,883	千円 3,095,332	% 14.8	% 14.7

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)平成18年度 一人あたり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
19年度	330人	千円 1,296,125	千円 269,394	千円 526,042	千円 2,091,561	千円 6,338	千円 5,955

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は平成19年給与実態調査の普通会計関係職員数の合計である。

(3) ラスパイレス指数の状況（平成19年4月1日現在）



- (注) ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。

### 2 職員の平均給料月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢及び平均給料月額の状況（平成20年4月1日現在）

① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
豊見城市	41歳11月	315,400円	354,683円
			344,528円
沖縄県	42歳10月	321,800円	370,042円
			—
国	41歳1月	325,113円	387,506円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成20年4月1日現在における職員の基本給の平均である。  
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養、住居、時間外などの諸手当の額を合計したものである。このうち、上段はこれら全ての諸手当込みのものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。また、下段は国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

② 技能労務職

区 分	公 務 員					民 間 (沖縄県)		
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)
豊見城	42歳3月	7人	295,100円	309,700円	307,414円	調理師	42.9歳	185,200円
沖縄県	48歳3月		317,600円	363,249円	—	—	—	—
国	48歳11月		284,679円	320,623円	320,623円	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(沖縄県)(D)	C/D
豊見城	5,148,900円	2,392,200円	2.15

- ※ 民間データは、賃金構造基本統計調査(賃金センサス)において公表されているデータ(平成16年～平成18年の平均)から、「沖縄県」のデータを使用している。  
 ※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。  
 ※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(2) 職員の初任給の状況(平成20年4月1日現在)

区 分		豊見城市	沖縄県	国
一般行政職	大学卒	172,200円	167,034円	172,200円
	高校卒	140,100円	135,897円	140,100円
技能労務職	高校卒	137,200円	133,084円	—
	中学卒	129,200円	125,324円	—

※ 沖縄県の初任給は特例減額措置を受けた後の額である。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成20年4月1日現在)

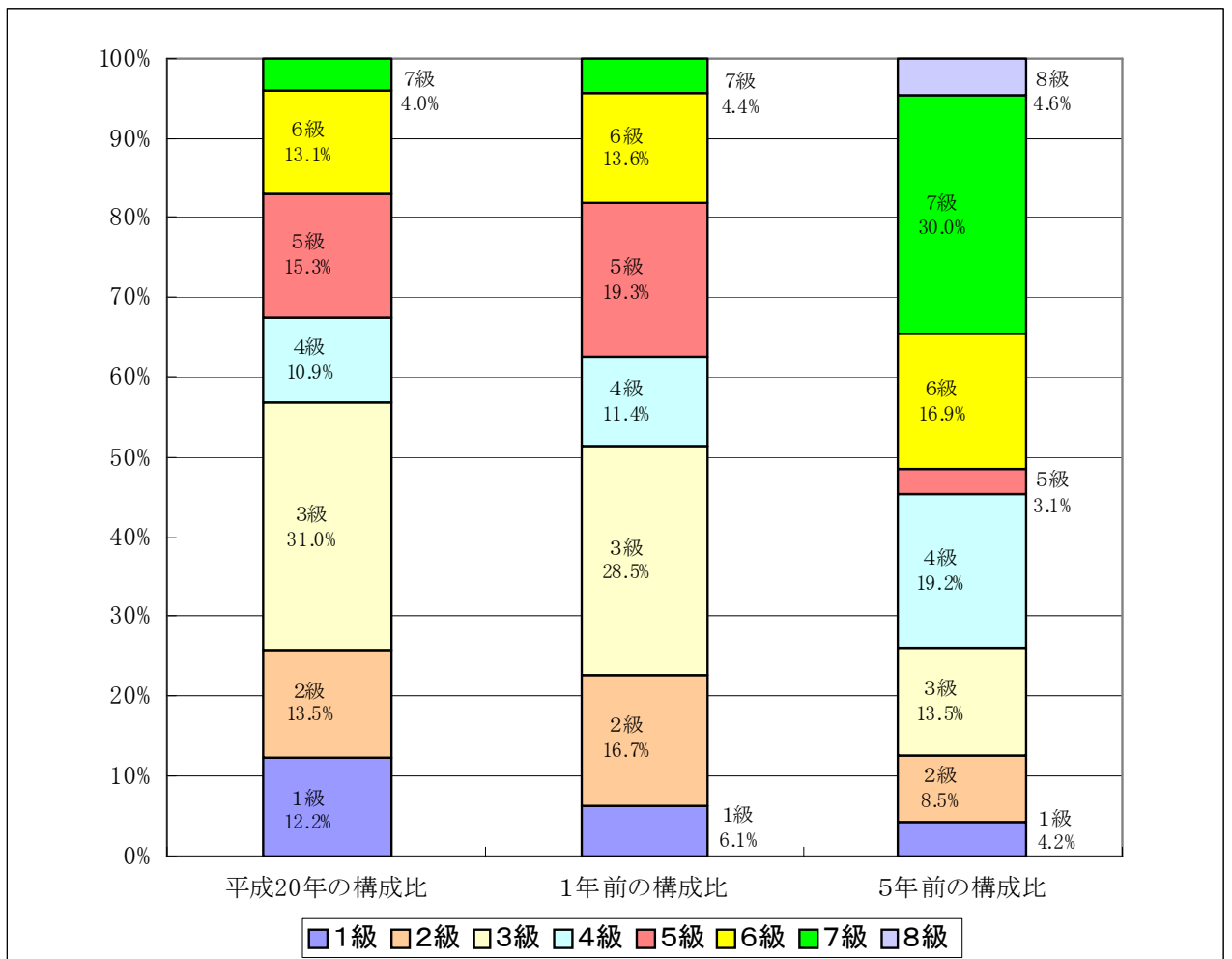
区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	269,300円	309,900円	371,000円
	高校卒	231,200円	279,700円	312,000円
技能労務職	高校卒	228,400円	261,600円	298,300円

### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況 (平成20年4月1日現在)

		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	合計
代表的な職務内容		主事技師	主任主事 主任技師	係長 主査 技査	主幹	副参事	課長 参事	部長 参事監		
職員数 (人)		28 (-)	31 (-)	71 (-)	25 (-)	35 (-)	30 (-)	9 (-)	-	229 (-)
構成比 (%)		12.2 (-)	13.5 (-)	31.0 (-)	10.9 (-)	15.3 (-)	13.1 (-)	4.0 (-)	-	100.0 (-)
参 考	1年前の 構成比	6.1 (-)	16.7 (-)	28.5 (-)	11.4 (-)	19.3 (-)	13.6 (-)	4.4 (-)	-	100.0 (-)
	5年前の 構成比	4.2 (-)	8.5 (-)	13.5 (-)	19.2 (-)	3.1 (-)	16.9 (-)	30.0 (-)	4.6 (-)	100.0 (-)

(注) 1 豊見城市給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



3 ( ) 内は再任用短時間勤務職員であり、外書の数値である。(注) 平成18年に8級制から7給制に変更している。(旧給料表の1級及び2級ならびに4級及び5級をそれぞれ統合、またそれぞれの級の職務を見直し)

(2) 昇給期間短縮の状況

区 分		合 計	一般行政職	技能労務職	その他
19年度	職員数(A)	375人	229人	7人	139人
	普通昇給期間(12～24月)を短縮して昇給した職員数(B)	54人	32人	0人	22人
	比率(B)/(A)	14.4%	14.0%	0%	15.8%
18年度	職員数(A)	377人	228人	8人	141人
	普通昇給期間(12～24月)を短縮して昇給した職員数(B)	40人	23人	0人	17人
	比率(B)/(A)	10.6%	10.1%	0%	12.1%

#### 4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

豊見城市			沖縄県		
1人当たり平均支給額(19年度) 期末 1,122千円 勤勉 539千円			1人当たり平均支給額(19年度) 期末・勤勉 1,644千円		
(20年度支給割合)			(20年度支給割合)		
6月期	期末手当 1.4月分	勤勉手当 0.675月分	6月期	期末手当 1.4月分	勤勉手当 0.675月分
12月期	1.6月分	0.675月分	12月期	1.6月分	0.675月分
計	3.0月分	1.35月分	計	3.0月分	1.35月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 有			(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		

(2) 退職手当(平成20年4月1日現在)

豊見城市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特別措置(2%～20%加算)			定年前早期退職特例措置(2%～20%加算)		
1人当たり平均支給額 25,162千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した公営企業職員を除く全職種の職員に支給された平均額である。

(3) 特殊勤務手当 (平成20年4月1日現在)

支給実績 (平成19年度決算)		2,078 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (19年度決算)		43 千円
職員全体に占める手当支給職員の割合 (20年度)		12.3 %
手当の種類 (手当数)		5種類
手当の名称	主な支給対象職員	左記職員に対する支給単価
徴税手当	市税の徴収等の業務に携わる職員	市税徴収 日額200円 滞納差押 1件300円 換価処分 1件400円
消防、救急及び救助業務手当	消防、救急及び救助業務に従事した職員	日額 200円
風水災害勤務手当	風水災害において特に勤務した職員	1時間 700円
防疫作業手当	感染症防疫作業に従事した職員 家畜伝染病防疫作業に従事した職員	日額 1,000円
行旅死亡人等取扱手当	行旅病人又は行旅死亡人を取り扱った職員	1回につき2,000円

(4) 時間外勤務手当

支給実績 (平成19年度決算)	29,784 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (19年度決算)	91 千円
支給実績 (平成18年度決算)	25,176 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (18年度決算)	77 千円

(5) その他の手当 (平成20年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	支給実績 (平成19年度普通会計決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (平成19年度普通会計決算)
扶養手当	配偶者 13,000円	同じ	50,560 千円	256,650 円
	配偶者以外 6,500円			
	配偶者がいない場合の扶養者のうちの1人 11,000円			
	特定期間の加算 5,000円			
住居手当	借家 (限度額) 27,000円	同じ	20,431 千円	200,304 円
	持家(新築又は購入から5年間) 2,500円			
通勤手当	通勤距離が2km以上	同じ	8,530 千円	34,120 円
管理職手当	部長・参事監 55,236 円 課長・参事 42,590 円 (平成20年度は上記算定額より10%カット)	—	21,153 千円	480,750 円
休日勤務手当		同じ	10,601 千円	460,913 円

## 5 特別職の報酬等の状況（平成20年4月1日現在）

区 分		給料月額等	区 分		給料月額等
給料	市長	789,000 円	報 酬	議長	374,000 円
	副市長	650,000 円		副議長	334,000 円
	教育長	595,000 円		委員長	313,000 円
		議員		305,000 円	
期末手当	市長 副市長 教育長	6 月期 1.60 月分 1 2 月期 1.75 月分 加算措置 有	期末手当	議長 副議長 委員長 議員	6 月期 1.60 月分 1 2 月期 1.75 月分 加算措置 有

- 注) 1 市長、副市長および教育長の給料は条例の規定額から5%カットしており、上記の額はカット後の額を記載してある。
- 2 市長、副市長および教育長の期末手当は、上記算定額から約3%カットしている。

## 6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由（平成20年4月1日現在）

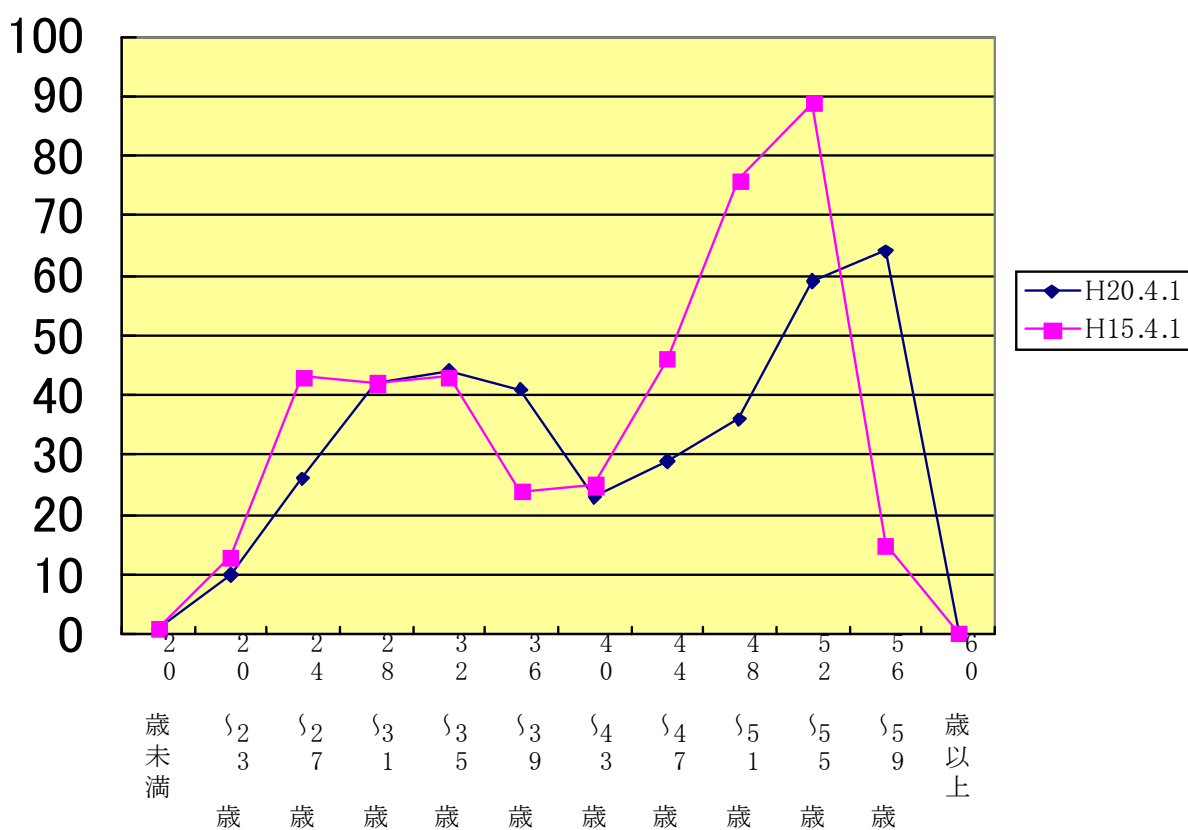
部 門	区 分	職員数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成 19年度	平成 20年度		
一般行政部門	議会	5	5	0	
	総務企画	62	68	+ 6	公会計制度、戸籍電算化導入に伴う要員強化。那覇空港沖合展開計画、監査事務の体制強化。
	税務	24	24	0	
	民生	67	64	△ 3	参事（課長級）の廃止、保育士及び調理員の臨時職員対応。
	衛生	20	20	0	
	労働	0	0	0	
	農林水産	13	11	△ 2	部の統合及び事務事業の縮小による減。
	商工	7	7	0	
	土木	30	27	△ 3	係の統合及び事務事業の縮小による減。
	小 計	228	226	△ 2	人口1万人当たり職員数 41人
特別行政部門	教育	59	60	+ 1	学校建設に係る事業量増に伴う要員強化。
	消防	42	45	+ 3	消防力の充実強化。
	小 計	101	105	+ 4	
普通会計		329	331	+ 2	
公営 企業等 部門	水道	18	18	0	
	下水道	10	9	△ 1	下水道整備に係る事業量の減。
	その他	20	18	△ 2	区画整理事業に関する事業量の減。
	小 計	48	45	△ 3	
合 計		377	376	△ 1	

(注) 職員数は地方公共団体定員管理調査に基づき作成している。教育長、土地開発公社派遣職員（1人）を含むが、他の団体への派遣職員及び臨時・嘱託・非常勤職員を含まない。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成20年4月1日現在）

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	1人	10人	26人	42人	44人	41人	23人	29人	36人	59人	64人	0人	375人
5年前の構成比	1人	13人	43人	42人	43人	24人	25人	46人	76人	89人	15人	0人	417人

(注) 教育長を除く。（公務員給与実態調査に基づき作成）



(3) 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況

① 数値目標

年度 区分	H17.4.1 (基準年度)	H22 4.1	H17.4.1 ～ H22.4.1 増減計	対 H17.4.1 増減率 (%)
職員数	386	368	△18	△4.7

※職員数のとらえ方は、「地方公共団体定員管理調査」に基づくものである。

② 進捗状況（実績）

年度 区分	H17.4.1 (基準年度)	H20.4.1	対 H17.4.1 増減数・率 (%)	数値目標に対する 進捗率 (%)
職員数	386	376	△10 (△2.6)	55.6
採用者	—	24	—	—
退職者(前年度)	—	25	—	—

## 7 公営企業職員（水道事業）の状況

(1) 職員給与費の状況（平成19年度決算）

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率(B/A)	平成18年度の総費用に 占める職員給与比率
19年度	千円 1,199,555	千円 74,272	千円 126,281	10.5%	10.8%

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	H18年平均一人 当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
19年度	18人	千円 84,738	千円 6,196	千円 35,347	千円 126,281	千円 7,016	千円 7,017

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、平成20年3月31日現在の人数である。

(2) 職員の平均年齢及び平均給料月額状況（平成20年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給
豊見城市	50.3 歳	379,629円

(3) 職員の手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

水道企業会計			一般行政職等		
1人当たり平均支給額(19年度)			1人当たり平均支給額(19年度)		
期末	1,328 千円	勤勉 636 千円	期末	1,122 千円	勤勉 539 千円
(20年度支給割合)			(20年度支給割合)		
6月期	期末手当 1.4月分	勤勉手当 0.675月分	6月期	期末手当 1.4月分	勤勉手当 0.675月分
12月期	1.6月分	0.675月分	12月期	1.6月分	0.675月分
計	3.0月分	1.35月分	計	3.0月分	1.35月分
(加算措置の状況)			(加算措置の状況)		
職制上の段階、職務の級等による加算措置 有			職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		



② 退職手当（平成20年4月1日現在）

水道企業会計			一般行政職等		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)			定年前早期退職特例措置(2%~20%加算)		
1人当たり平均支給額 25,221千円			1人当たり平均支給額 25,162千円		

(注) 退職手当1人当たり平均支給額は、平成19年度に退職した職員に支給された平均支給額である。

③ 特殊勤務手当（平成20年4月1日現在）

支給実績（平成19年度決算）	46	千円
支給職員1人当たり平均支給年額（19年度決算）	46	千円
職員全体に占める手当支給職員の割合（20年度）	5.5	%
手当の種類（手当数）	2種類	
手当の名称	主な支給対象職員	左記職員に対する支給単価
風水災害勤務手当	風水災害において特に勤務した職員	1時間 700円
水道技術管理者手当	水道技術管理者の勤務を命ぜられた職員	月額 5,000円

④ 時間外勤務手当

支給実績（平成19年度決算）	723	千円
支給職員1人当たり平均支給年額（19年度決算）	121	千円
支給実績（平成18年度決算）	807	千円
支給職員1人当たり平均支給年額（18年度決算）	101	千円

⑤ その他の手当（平成20年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	支給実績（平成19年度決算）	
扶養手当	配偶者	13,000円	同じ	2,772 千円
	配偶者以外	6,500円		
	配偶者がいない場合	11,000円		
	その1人につき	5,000円		
住居手当	借家（限度額）	27,000円	同じ	678 千円
	持ち家(新築又は購入から5年間)	2,500円		
通勤手当	通勤距離が2km以上	同じ	439 千円	
管理職手当	部長 55,236円 課長 42,590円 (平成20年度は上記額より10%カット)	—	1,516 千円	